

エコアクション21

# 環境活動レポート

対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日






【下水道長寿命化工事】

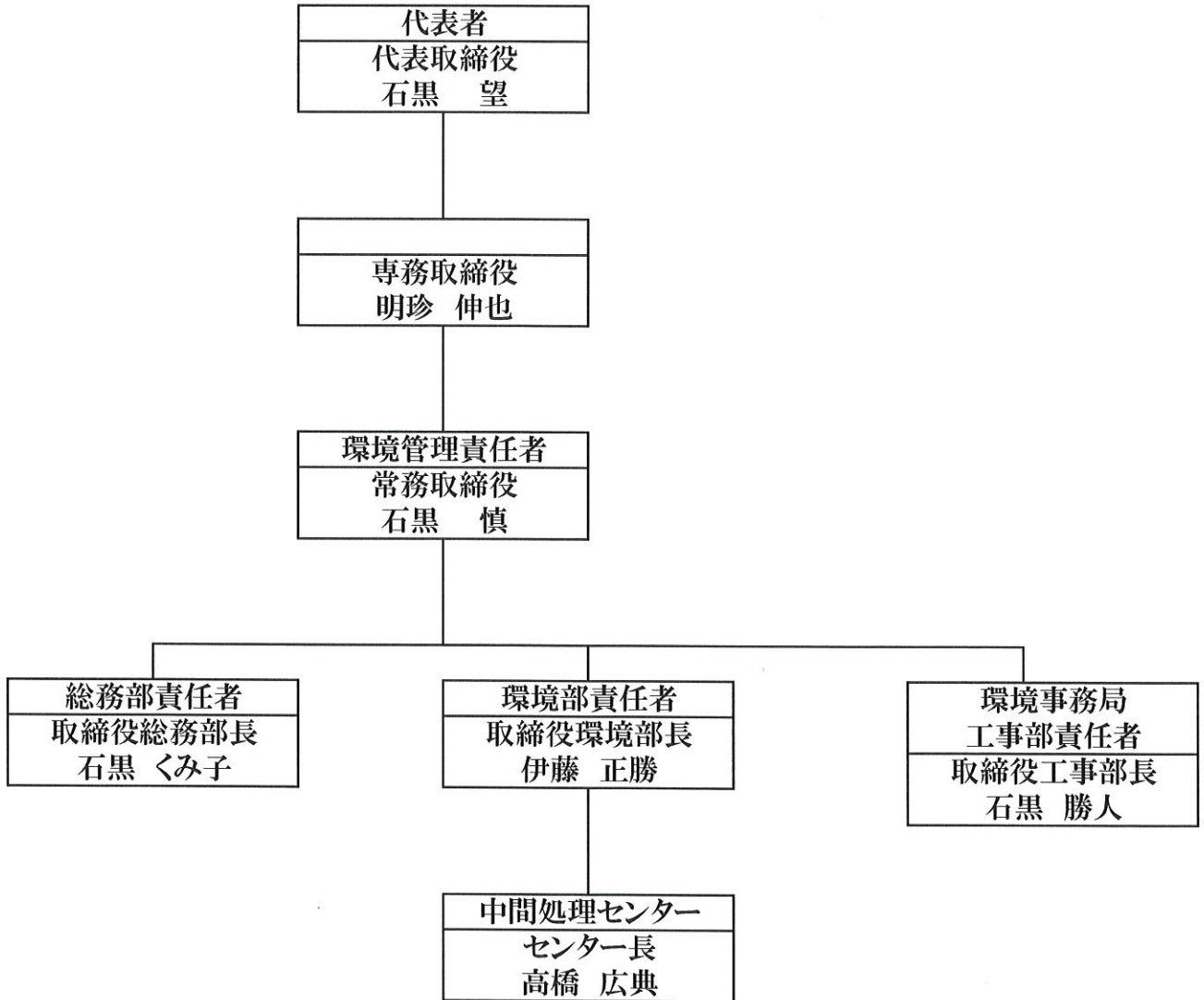
豊興産株式会社

作成日：平成30年3月31日

# 豊興産株式会社 EA21実施体制図

平成 27 年 4 月 1 日作成

承認	確認	作成
 	 <small>環境管理責任者</small>	 <small>環境事務局</small>



## 【 役割・責任・権限 】

<p>代表者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任</li> <li>・ 環境方針の策定・見直し・及び全従業員へ周知</li> <li>・ 環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> <li>・ 代表者による見直し</li> </ul>
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・ 実質的な環境活動・監督を統括</li> <li>・ 環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートの確認</li> </ul>
<p>環境事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐</li> <li>・ 環境活動の実績集計</li> <li>・ 環境目標、環境活動計画書・環境活動レポートの作成</li> </ul>
<p>各部門責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・ 自部門における環境方針の周知</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
<p>全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

# 豊興産株式会社環境方針

## 〈 基本理念 〉

豊興産株式会社は秋田県秋田市に位置し、土木工事全般・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を主な事業活動とし、『明日の空気を変えていく』をテーマとし、ともに共存してきた地域の環境を守るために、事業活動における環境負荷の低減及び資源の有効活用を図るため、会社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

## 〈 行動指針 〉

- 1、環境経営システムを構築し、次の事項を重点的に取組みます。
  - ① 工事施工・収集運搬時の燃料消費を低減し、二酸化炭素排出量の抑制
  - ② 車両等新規購入の際に車両の仕様において排気ガス抑制基準及び低燃費性の重視
  - ③ 事業活動に伴う電気使用量の削減
  - ④ 事務処理で使用する紙資源の節減
  - ⑤ 事務所等で節水を推進し水資源使用量の削減
  - ⑥ 中間処理後の汚泥発生量の減量化
- 2、環境に配慮した製品等の購入を推進します。
- 3、環境保全活動の内容を全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。
- 4、地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 5、環境関連法規を遵守します。

制定日： 平成26年 12月 25日  
改定日：

豊興産株式会社  
代表取締役 石 黒 望

# 事業概要

## 1、名称及び代表者名

豊興産株式会社 設立年月日： 1964年 4月  
代表取締役 石黒 望 資本金 ： 39,000千円

## 2、所在地

【 本社 】 秋田県秋田市新屋烏木町1番82-2号  
【 中間処理センター 】 秋田県秋田市新屋町字関町後232番地1号

## 3、環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名： 石黒 慎  
担当者連絡先： TEL / 018-828-4611 E-mail / shin1980@feel.ocn.ne.jp

## 4、事業内容

土木構造物の施工、産業廃棄物の収集・運搬、汚泥の中間処理  
および下水道維持管理

工事： 土木工事一式、下水道維持管理、管渠内調査、残置管充填 等  
環境： 産業廃棄物収集運搬・汚泥中間処理処分、特別管理産業廃棄物収集運搬、  
各種排水管・側溝等清掃、廃乾電池及び廃蛍光管収集運搬、環境メンテナンス事業、  
除排雪作業一式 等

## 5、事業の規模(2017年度)

売上高 — ¥700,670,000

	本社	中間処理センター	総計
従業員 (名)	27	2	29
延べ面積 (m <sup>2</sup> )	3,769	4,954	8,723

## 6、【 中間処理センター 】詳細

中間処理品名： 汚泥(無機性・有機性)  
中間処理方法： 無機性(脱水) 有機性(脱水)  
脱水処理能力： 8m<sup>3</sup>/h (64m<sup>3</sup>/日)  
汚泥保管施設面積： 185.20m<sup>2</sup>  
汚泥保管施設容量： 339.14m<sup>3</sup>  
積み替え保管品名： 廃アルカリ、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず  
積み替え保管施設面積： 11.57m<sup>2</sup>  
積み替え保管施設容量： 31.25m<sup>3</sup>  
収集運搬(蛍光管)： 14,691kg  
収集運搬(乾電池)： 4,470kg

## 7、取組み期間

平成 29年 4月 1日 ~ 平成 30年 3月 31日

## 産業廃棄物取扱量(中間処理)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比(%)
無機性汚泥 (t)	2,415	1,703	1,417	83
有機性汚泥 (t)	3,168	3,458	3,405	98
蛍光管 (kg)	14,691	19,737	29,597	150
乾電池 (kg)	4,470	2,491	3,812	153

# 保有車両・機械

## 《 収集運搬車両 》

	名称	登録番号	最大積載量(kg)	最大容量(m3)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	10tダンプ	秋田100は3645	9,200	—	7.74×2.49×3.32	UD	
2	10tダンプ	秋田100は3648	9,100	—	7.83×2.49×3.30	UD	
3	4tダンプ	秋田100す3359	3,650	—	5.48×2.19×2.50	UD	低排出ガス
4	4t深ダンプ	秋田100さ3270	3,750	—	5.62×2.20×2.51	UD	低排出ガス
5	2tダンプ	秋田400ち4824	2,000	—	4.69×1.69×1.96	UD	低排出ガス
6	7tユニック	秋田100は3652	6,600	—	9.67×2.49×3.37	UD	
7	4tユニック	秋田100す8279	3,400	—	6.14×2.23×2.99	UD	低排出ガス
8	キャラバン	秋田400た2996	1,000	—	4.69×1.69×1.99	日産	低排出ガス
9	サクシード	秋田501そ8156	—	—	4.30×1.69×1.51	トヨタ	
10	13t超特殊強力吸引車	秋田800は840	6,150	6.1	9.83×2.49×3.58	UD	低排出ガス
11	11t強力吸引車	秋田88ゆ696	7,500	8.5	9.36×2.49×3.32	UD	
13	11t特殊強力吸引車	秋田800は1088	7,960	7.6	9.32×2.49×3.57	日野	低排出ガス
14	8t強力吸引車	秋田88ゆ393	5,610	5.8	7.75×2.49×3.10	UD	
15	5t特殊強力吸引車	秋田800は233	3,920	4.0	7.17×2.20×2.90	UD	低排出ガス
16	4t特殊強力吸引車	秋田800さ8757	2,170	2.0	6.62×2.20×2.82	UD	低排出ガス

## 《 その他車両 》

	名称	登録番号	最大積載量(kg)	最大容量(m3)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	超高压洗浄車	秋田800さ576	1,500	—	6.05×2.20×2.82	ISUZU	低排出ガス
2	高压洗浄車	秋田88す6533	2,300	—	6.17×2.21×2.78	UD	
3	キャブオーバ	秋田100す1095	1,350	—	4.78×1.69×2.32	UD	低排出ガス
4	軽トラック	秋田480き7181	350	—	3.39×1.47×1.81	スバル	低排出ガス
5	TVカメラ車	秋田800す1829	—	—	4.69×1.69×2.24	日野	低排出ガス
6	穿孔車	秋田800さ7645	—	—	4.69×1.69×2.21	日野	低排出ガス
7	ボイラー車	秋田800さ5166	—	—	5.83×2.26×3.50	UD	低排出ガス
8	パートライナー車	秋田88す6953	—	—	6.28×1.88×2.91	UD	
9	移動式脱水車	秋田800ゆ6	—	—	10.2×2.49×3.52	兼松	

## 《 保有機械 》

	名称	登録番号	機械名	総重量(kg)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	ホイローダ	秋田930さ1303	938	14,040	7.62×3.48×3.55	CAT	排出ガス適合
2	ホイローダ	秋田000る3750	WA200	10,595	7.63×3.28×3.14	コマツ	排出ガス適合
3	ホイローダ	秋00ま3338	8NB	10,540	6.75×2.34×3.34	CAT	
4	ホイローダ	秋000る3127	914K	9,205	6.40×2.40×3.28	CAT	排出ガス適合
5	ホイローダ	秋田000る1057	910G	6,605	6.06×2.32×3.13	CAT	排出ガス適合
6	ホイローミニローダ	秋田市う731	—	—	3.99×1.40×—	フルカワ	
7	ロータリ車	秋田900る455	—	6,650	5.64×1.82×2.50	エッチケー	
8	油圧ショベル	—	312C(0.45m3)	12,300	—	CAT	排出ガス適合
9	油圧ショベル	—	305SR(0.2m3)	4,595	—	CAT	排出ガス適合

# 設備

## 【 中間処理センター 】

名称	規格	数量
トラックスケール	—	1基
脱水車(移動・固定兼用)	遠心分離式	1台
油圧ショベル	0.45m3	1台
ホイローダ	1.5m3	1台
振動篩設備、汚水浄化設備		

# 許可の内容

許可名	許可権者	許可番号	許可年月日	有効年月日	種類
産業廃棄物処分業	秋田県	第00524000972号	H25.11.24	H30.11.23	脱水処理施設設置
	秋田市	第08620000972号	H25.12.5	H30.12.4	脱水処理施設設置
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	北海道	第00150000972号	H25.7.24	H30.7.23	
	青森県	第00251000972号	H25.7.24	H30.7.23	
	秋田県	第00554000972号	H25.8.28	H30.8.24	
	岩手県	第00350000972号	H25.7.20	H30.7.19	
	山形県	第0659000972号	H27.10.12	H32.10.11	
産業廃棄物収集運搬業	北海道	第00100000972号	H25.7.5	H30.7.4	
	青森県	第00201000972号	H27.6.27	H32.6.26	
	秋田県	第00504000972号	H25.11.24	H30.11.23	
	秋田市	第08610000972号	H25.12.5	H30.12.4	
	岩手県	第00300000972号	H27.2.7	H32.2.6	
	山形県	第0609000972号	H27.10.12	H32.10.11	
特定建設業		秋田県知事許可 (特一25)第2678号	—	H30.8.11	



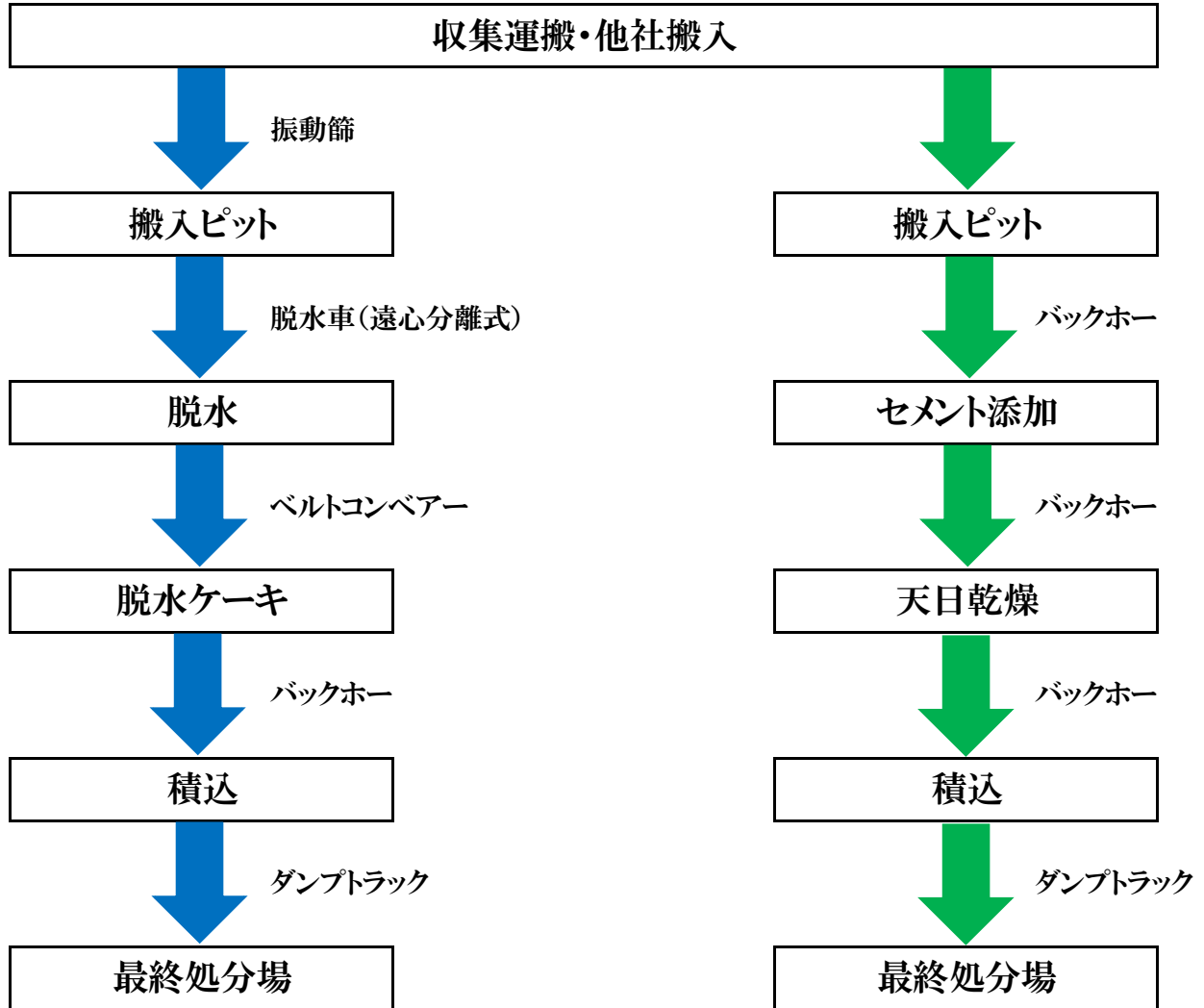
# 【 中間処理センター 処理工程図 】

## 無機性汚泥

建設汚泥・油水分離槽汚泥・ベントナイト汚泥 等

## 有機性汚泥

グリーストラップ汚泥・下水汚泥 等



# 環境関連法規制の遵守状況

## ○環境関連法規制の遵守状況

環境関連法	法規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	○
騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	○
振動規制法	指定地域における建設作業と届出	○
建設リサイクル	対象工事における届出書面作成	○
循環型社会形成推進基本法	再利用・再使用・熱回収	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	廃棄物発生抑制	○
環境基本法	環境保全・健康で文化的な生活の確保	○
消防法	指定危険物の貯蔵と取扱、届出	○
道路交通安全法	安全運転、道路における対象工事・作業の許可申請	○
道路法	継続して道路を使用・占用する対象物件の許可申請	○
道路運送車両法	登録・点検・検査	○
県条例		○
公害防止協定	騒音・振動・臭気	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者	○
計量法	計量証明発行	○
グリーン購入法	環境物品を購入・努力義務	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	飛散防止・許可の看板提示・許可更新	○
秋田県暴力団排除条例	暴力団を雇用しない	○

## ○違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

# 取組みの対象範囲

## 1、 取組みの対象範囲

対象事業所： 本社(事務所・車庫)  
中間処理センター

## 2、 活動

産業廃棄物収集運搬

汚泥中間処理・処分

土木工事 等の事業

# 環境活動計画

	環境目標	実施事項	
1	CO2排出量削減	電力	照明消灯の徹底
			エアコンの温度管理の徹底
		燃料	アイドリングストップの徹底
			急発進・急加速の自粛
			日常・定期点検の実施
		重機の効率的稼働	
2	廃棄物排出量削減	廃棄物の分別	
		コピー用紙の再利用	
3	水消費量	節水の啓発	
4	グリーン購入推進	グリーン購入法適合商品を調査・優先購入	
5	地域貢献	クリーンアップ活動への参加	
		周辺地域の清掃活動	
6	環境配慮商品の提供	汚泥受入量を増やし脱水により排出量を削減	

## 環境活動目標

項目	単位	2017年度 (実績)	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	336,197	329,473	322,749	316,025
電気使用量	Kwh	48,087	47,125	46,164	45,202
燃料使用量	MJ	4,038,793	3,958,017	3,877,241	3,796,465
水使用量	m3	986	966	947	927
廃棄物排出量(一般)	kg	444	435	426	417
廃棄物排出量(産廃) 注1	t	12	12	12	11
グリーン商品購入	%	60	61	62	63
セメント使用量	t	158	155	152	149

※ 二酸化炭素排出係数:0.600 (kg-CO2/KWh) (東北電力2012年度)

注1 廃棄物は汚泥以外

## 環境活動実績

項目	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO2	241,235	216,508	336,197	329,473
電気使用量	Kwh	55,311	50,399	48,087	47,125
燃料使用量	MJ	3,324,823	2,990,922	4,038,793	3,958,017
水使用量	m3	241	229	986	966
廃棄物排出量(一般)	kg	199	214	444	435
廃棄物排出量(産廃) 注1	t	345	516	12	12
グリーン商品購入	%	-	-	-	60
セメント使用量	t	199	192	158	155

※ 二酸化炭素排出係数:0.600 (kg-CO2/KWh) (東北電力2012年度)

注1 廃棄物は汚泥以外

## その他

グリーン購入に関しては、事務用品を対象に変更し、さらに精査の上順次変更していくものとする。

## 環境活動計画の取組結果と評価

環境目標	具体的項目	評価		取組の評価と今後の取組について
		事務所	処理場	
電力削減	照明消灯の徹底 エアコンの&管理の徹底	△	△	事務所移転に伴い、旧事務所の取組を踏襲し、さらに太陽光発電等で削減されると思う。
燃料削減	アイドリングストップの徹底 急発進・急加速の抑制 日常・定期点検の実施 重機の効率的稼働	△	△	売上げの急激な増加により燃料使用量も増加してしまいましたが、日々の取組はできていたと思う。そのうえで、さらに削減ができないか検討したい。
廃棄物削減	廃棄物の分別 コピー用紙の再利用	×	△	移転に際に廃棄物が増量されたが、それ以外の時期はほぼ取組ができていたと思う。さらなる削減を検討したい。
排水量の削減	節水の啓発	△	△	売上げの増加に伴い水使用量も急激に増加してしまいましたが、日々の取組はできていたと思う。
グリーン購入推進	グリーン購入法的号商品を優先購入	-	-	初年度の購入比率は60%だったので、さらに購入項目を増やすように検討する。
環境配慮商品の提供	汚泥受入量を増やし脱水により排出量を削減	-	×	汚泥の搬入量が微減だったため、営業範囲の拡大等検討課題とする。また、脱水の際使用する薬品の削減も合わせて課題とする。
地域貢献	クリーンアップ活動への参加 周辺地域の清掃活動	△		クリーンアップは2回(7・10月)参加した。引き続き継続参加していく。周辺地域の清掃活動は1回(全社)行ったが、継続していく。

○～十分な取り組みができた △～ある程度取り組んだ ×～取組が不十分だった

## 地域貢献



事務所周辺クリーンアップ

## 従業員教育



社内研修状況

## 代表者による評価

通年3年目と本社移転が重なりあわただしい1年だったが、社員の日々の取組は概ねできていたと思う。さらに車輛の交換や新社屋移転に伴い太陽光発電の導入等エネルギー削減を推進してきた。

ただ、

電力は削減効果が表れてきているので引き続き行動してほしい。

廃棄物排出量はあまり変化がないのでさらなる減量化、リサイクル化を進めてほしい。

3年計画の2年目にして、意識した行動が表れてきたと思う。ここからもう一段掘り下げて、さらなる削減を期待したい。

平成30年 3月31日

豊興産株式会社

代表取締役 石 黒 望